

H30年度国土交通省「BIM/CIMリクワイヤメント」への対応

会社名	株式会社エムティシー
ソフトウェア名	道路・鉄道線形計画システム APS-MarkIV Win、道路横断面システム APS-ODAN
適用分野	道路設計
適用フェーズ	予備設計、詳細設計

国土省			株式会社エムティシー
No.	BIM/CIMリクワイヤメント項目	H30年度施策	ソフトウェアの対応状況
1	契約図書化に向けたCIMモデルの構築（設計・施工）	新たに策定した「3次元モデル表記標準（案）」をもとに2D図面と連動した3Dモデル作成・活用を実施。	未対応
2	関係者間での情報連携及びオンライン電子納品の試行	新たに策定した「情報共有システム機能要件」をもとに3Dビューを活用した関係者間共有、オンライン納品を実施。	対象外
3	属性情報の付与	付与すべき属性情報を検討、結果を一覧にとりまとめる。（H30年度からIFCによる属性情報の直接付与が可能に）	線形、土工形状、および、地形の各モデルについては、「LandXML1.2に準じた3次元設計データ交換標準（案）」に準拠し、出来形管理等に用いる、土工面（道路面・路床面・路体面）・舗装工の形状・属性を出力可能。
4	CIMモデルによる数量、工事費、工期算出	3Dモデルでの数量算出のため、改定された「土木工事数量算出要領（案）」をもとに課題や結果をとりまとめる。	未対応
5	CIMモデルによる効率的な照査の実施	詳細設計照査要領に基づく従来の照査と比較し、3Dでの照査による効率化の程度についてとりまとめる。	未対応
6	施工段階でのCIMモデルの効率的な活用	施工計画検討を動画によって実施。工事においては計測機器と連携した出来形確認を実施。	未対応
7	その他【現場特性に応じて設定】	実施する現場の特性に応じてカスタマイズ。受発注者の協議を介し、3Dデータ活用による生産性向上の手立てを探る。	特になし